

自治体DXで利便性を高めるとともに セキュリティレベルの向上も必要

DX化の状況について

デジタル人材育成の進捗状況は。

総務部長 6年6月に結
城市デジタル人材育成方
針を策定し、デジタル化
の取組の中核を担う職員
として18人を指定。DX
やデジタル技術活用に関
する基礎知識の習得や
DXに関するセミナーへ
の参加など、デジタル人
材育成に努めてきた。

深刻なサイバー攻撃の被害が相次ぐ中、自治体も体制強化が必要と考えるがインシデントに対する備えはあるのか。

総務部長 技術的な対策としては、三層分離のセキュリティ対策を行っている。
人的な対策としては、セキュリティポリシー遵守の徹底を図るとともに、研修を実施するほか、全部署に対して情報セキュリティ内部監査を実施し

ている。

庁内手続きの際の書く作業について、今後改善はできるのか。

総務部長 マイナンバーカード等の本人確認書類を読み取ること、申請書への手書きを不要にする「書かない窓口」システムの導入を検討している状況。



便利と安全の両立を



永塚 英恵
(ながつか はなえ)



録画映像
はこちら

結城消防署移転新築について

消防署新設の場合、どのくらいの費用が掛かるのか？事例で説明ください。

市民生活部長 6年度の桜川消防署と大和分署の統合庁舎について、用地取得費用は含まれていないが、設計・施工管理・建設工事・旧庁舎の解体を含めて、約20億5000万円。

住民の方々との合意形成に丁寧な説明が大切と考えますが。

市民生活部長 統合前と新統合庁舎からの消防・救急隊の出動・対応にかかる時間が予測と大きな相違がないか確認する必要がある、新統合庁舎の運用後に改めて統合の成果を検証したいと考えている。

